

子どもたちの健やかな成長を！

日本共産党 …… 京増

藤江



児童クラブの充実・拡充について

問 八街市は、青少年を心身ともに健やかに育てるとし、3月議会で「青少年健全育成都市」とすると宣言した。青少年を健全に育成できるよう質問する。児童クラブへの入所は小学3年生までだが、4年生以上も利用できるようにすべきではないか。

答 八街でも4年生以降も入所できるよう求める。また、実住小と東小の子どもたちが通う八街児童クラブは、新1年生の入所希望が多く、新3年生の入所が保留になったが、父母と市長との話し合いで引き続き入所できたが25人も定員オーバーの105人であり、早急に分離すべきである。

市長 定員に余裕があれば4年生以上も受け入れていきます。

問 市は青少年健全育成都市として宣言している。子どもたちの安全最優先の施策が必要である。今、子どもたちが事件に遭う可能性は多く、また、事件を起こす可能性もある。防犯パトロールなど、市民の皆さんの協力を得ることも必要だが、同時に、市が子どもたちを健やかに育てるための施策をどうするのが問われている。四街道市では、子どもたちの安全上からも児童クラブは6年生まで預けら

保育料について

問 「八街市次世代育成支援行動計画」の子育てに関

する意識調査によると、市に期待することという項目では、就学前の児童では「保育園、幼稚園の費用負担軽減」の要望が72・8%と最も多い。現在の保育料は7段階だが、細分化して払いやすくすべきではないか。また、非課税世帯への保育料徴収の廃止を求めるが如何か。

八街児童クラブ



市長 保育料は国が定めた保育所徴収金基準額表に準じており、保育料の細分化・見直しは考えていません。

後期高齢者医療制度は廃止を！

日本共産党 …… 丸山わき子



後期高齢者医療制度

問 この制度に対する国民の大きな批判を前に、政府与党は低所得者の負担軽減・差別医療の一部凍結をしようとしているが、年金からの天引き、保険料が払えなければ保険証の取り上げや医療抑制を目的とした制度の仕組みそのものは変えようとしていない。市長はこの制度の撤廃・廃止とともに、国民が安心できる医療制度をどう作るのか。財源問題も含め国民的な合意を作るよう国に求めるべきと思うが如何か。

市長 説明して納得していただきます。また運営上の改善、緩和も考えるなどしながら、制度の理解と定着を図ることが大事であると考えています。

問 国は特別な事情がある人は天引きの対象外にすることができるとしているが、八街市はこの基準は設けているのか伺う。

市長 広域連合が決定しますので、八街市独自の負担軽減策を実施することはできません。

問 国保年金課長 広域連合の会議でもその話題が出ており、基準等を担当者、課長の会議で議論を重ねています。

住宅政策について

問 市独自の保険料の負担軽減を図ることを求めるが如何か。

市長 平成6年に市営住宅マスタープランが作られたが建て替えは進まず、老朽化した住宅は取り壊されている。低廉な公共住宅の役割は大きい。住宅供給計画とともに老朽化した住宅の計画的な建て替えを求めるが如何か。

交通安全対策について

問 狭隘な道路・通学路などの速度制限、一方通行などの規制で安全確保を求めるが如何か。

市長 規制に伴う道路は沿線住民の生活道路であり、住民の理解が得られれば、

市長 保険料を確実に納めることによって、助け合いの仕組みである医療保険制

市長 公営住宅再生マスタープラン見直しの中で、民間賃貸住宅の活用方法と併せ、福祉や地域と連携した市営住宅等を幅広く検討していきたいと考えています。



狭隘な道路